

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 3 月 6 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3470202510		
法人名	有限会社 美泉		
事業所名	グループホーム よってきんさい古江		
所在地	733-0872	広島市西区古江東町1-26	(082) 507-6525
自己評価作成日	平成30年2月10日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3470202510-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年3月2日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者様が自宅と思える温もりのある民家改造型のグループホームです。個々の生活ペースを大切に、利用者様の言動に対して先走って手を出しすぎないように見守ることを心掛けています。又選択肢のある声掛けを心掛け利用者様本位のサービスを提供できるよう努めています。終末期の介護について本人と家族の意向を確認し、主治医や看護師と連携し寄り添いながら看取りを行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

宮島線の高須電停から歩いて、5分くらいの閑静な住宅地に位置する”よってきんさい古江”は、同じグループ内の事業所と交流し、特に比較的近くにある”よってきんさい草津”とは機会があれば活発に交流が行われている。利用者に対しては、毎日生活する中で何気なく手を繋いで体温を確認したり、見守りしながら水分の摂取量を把握する等、常に気配りしながら支援に取り組んでいる。また母体全体をカバーする車の運転専用職員が居り、利用者とドライブに出掛けたり、日頃の買い物を行ったりして運営を補佐している。職員に対しては、国の助成金（処遇改善金）を有効に利用しながら待遇改善に努め、資格取得に対しても積極的に支援し、職員のキャリアアップの一助に貢献している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	運営理念は目の届くところに掲示し毎朝唱和することで共通認識している。その理念をもとに年間の目標を立て日々取り組んでいる。	法人理念の他に、事業所は理念に基づき目標を定め、利用者に寄り添った支援・地域と共に暮らせる事を掲げ、実践に活かせる取り組みがされている。職員は利用者の、その人らしい暮らしを支援出来る様、実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に加入し地域の清掃活動や行事に参加している。職員と一緒に回覧板を届けに行ったり散歩時挨拶をすることで地域交流が持てる様努力している。	開設時に町内会に加入しており、積極的に地域と繋がる努力がされている。また地域の行事やイベントにも参加し、職員は地域とのつきあいの大切さを理解しながら、日々支援に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方に相談を受けた場合認知症の人の理解や支援方法などアドバイス出来る様にしている。又、町内会や運営推進会議の場で質問を受けお答えしている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回定期開催により事業所の活動や利用実績など報告している。会議での意見、アドバイスは職員会議で報告しサービスの向上に活かしている。	会議は2か月に1度定期的に行われ、話し合いを行っている。会議内容は活動報告や今後の予定、又利用者の状況の報告も漏らさず行い、地域包括センター等の意見を参考に、今後のサービスに活かす取り組みがされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	生活保護受給者の為に生活課と連絡を取っている。地域包括支援センターより運営推進会議に参加いただき、事業所の活動や状況を報告している。	日頃から報告事項や相談事が有れば、市町と連絡しながら協力関係を築く努力はされている。また地域包括センターの担当者に、運営推進会議に参加してもらう等、積極的に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>社内外研修を通し身体拘束の知識を深め職員は常に介助方法の話し合いを持ちながら身体拘束をしないケアを心掛けている。日中は玄関を解放している。</p>	<p>玄関入り口は常に施錠していないが、夜間2階の階段は、安全対策のため簡易のガードをしている。職員は、外部研修や事業所での勉強会等で、言葉の拘束を始め身体拘束しないケアを理解し、実践に繋げる努力を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止法について学習し周知徹底している。日頃から利用者様の尊厳を守り声掛けや言葉使いについて職員同士お互い注意を払い虐待のない介護に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>社内外研修で権利擁護に関する制度の理解に努め、必要時は上司に報告し支援へとつなげている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には重要事項説明書や契約書により充分説明し不安や疑問、意向を聞きながら理解納得して頂けるよう心掛けている。入居されてからもわからないことはいつでも聞いてくださいと伝えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様からは日常生活の支援の中からも思いをくみ取るよう努めている。意見箱を設置し面会時にも意見や要望をお聞きしている。意見要望は運営推進会議などでも報告している。</p>	<p>来所時に直接意見を聞く機会は設けている。利用者や家族の意見は運営推進会議等を通して、外部へ知らせる機会を設けており、職員は意見・要望を把握しながら、運営に反映する努力を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	申し送りやミーティング、互礼会等の集まりで意見や提案を聞いている。管理者会議で検討し業務に反映させている。	運営に関しての提案事項が有る場合には、管理者と職員が話し合い、意見交換を行いながら改善に繋げるよう努めている。又、事案によっては管理者が法人の代表に提案し、意見の反映に繋がるよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	自己申告書があり職員の日ごとの努力や勤務状況を把握し、各自向上心を持って働けるよう環境整備に努めている。研修や勉強会の為の勤務調整を行っている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	社内研修でケアの向上を図り各自の力量を把握したうえで外部研修へ参加する機会の確保及び資格取得者には、手当等を設けるなど努力をたたえている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域包括支援センター主催の研修に参加し同業者との交流を図り良いところは取り入れ、サービスの質の向上に努めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前訪問を行い本人や家族の困っている事、要望を聞かせていただき安心して頂けるようなサービスの提供を行うことで、良い関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前の面接で話を聞かせて頂き、家族が困っている事や不安な事を解消できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人と家族よりお話を聞きその時に一番必要であるサービスを見極め検討し他のサービスを提供できるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人の持っている能力を活かした作業を一緒に行うことで、生活を共にするもの同士のかんげいを築いている。作業後は労いの気持ちを伝えている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の訪問時にはホームでの様子を伝えたり時には相談するなど、つながりが切れないように努力している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>入居前からの病院や美容院があり、入居後も行きたい希望があれば家族のちからを借りながらできる限り出かけている。</p>	<p>入所時に、本人及び家族に馴染みの人や場所の支援について話し合っている。面会時にも声掛けをしながら、関係継続をサポートするよう努め、不安や孤独感を感じさせない心の支援を含め関係の継続を大切にしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人ひとりの性格や感情の変化を理解したうえで、作業や食事時間に一緒にテーブルにつき過ごし、利用者様同士関わり支え合える関係が持てる様支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了し退去された後も、希望があれば相談にのり支援に努めている。死亡退去時法要や納骨もお手伝いしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	センター方式を利用し情報収集を行っている。一人ひとりの思いや希望の理解に努め、できる限り本人本位の暮らしができる様検討している。	利用者の思いを把握するため、家族や関係者から話を聞き取り、日々の暮らしに役立てるよう努めている。希望の把握が困難な場合は、職員は話し合いを行い、利用者のニーズに合ったケアサービスに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を用い本人や家族や入居前の関係者より情報収集を行い記録している。入居後も面会に来られる方との会話などから情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	十分な情報収集のうえで一人ひとり適した過ごし方をアセスメントし、日々の生活の中から有する能力の把握に努め、本人の誇りや意欲を奪わないよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>センター方式を用いアセスメントしている。本人家族より意向を伺い職員で話し合い、往診時に医師の意見を伺いプランを作成している。</p>	<p>利用者がより良く生活する為に、利用者や家族の要望を把握し、モニタリングは必要に応じて行い、無理をした計画を立てないように作成している。職員は介護計画を常に確認し、長谷川式、センター方式を使用しながら、現状に即した支援を行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>生活日誌の記録や申し送りノートで情報を共有し実践しプランの見直しをしている。状態変化も情報共有し見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に合わせて本人家族と話し合いを行いサービスを検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の商店へ買い物に出かけたり回覧板を職員と一緒に持っていったりしている。町内会の清掃や祭りにも参加し地域との交流を深めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居前の係りつけ医を希望される場合は引き続きお願いしている。特にない場合は本人家族の希望を重視しながら、ホームドクターをお願いしている。入院が必要な場合は適切な病院を紹介して頂いている。</p>	<p>利用者の殆どは事業所の協力医療機関をかかりつけ医としており、患者をとっても大切にされる医師で信頼が厚く、往診は定期的を受けている。協力歯科医も必要に応じて受診を受けている。管理者は看護師で有事の時は、かかりつけ医と共に24時間体制で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々の心身の状態や気づきや体調変化が見られた場合、看護職員に報告相談し必要時にはホームドクターに連絡し適切な処置が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時ホームの生活状況の要約を作成し提供している。入院中面会に行き医師や看護師と情報交換し早期退院に向け取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時にある程度の方向性を話し合い理解して頂いている。常に状態の報告を行い必要な段階には、本人と家族と医師と十分な話し合いを行いチームでの支援に取り組んでいる。</p>	<p>入所時に説明は行われている。重度化した場合、改めて家族に説明し同意を得ている。看取り（同事業所は経験が豊富）になると協力医は必要に応じて往診し、管理者は家族と話し合い、職員は管理者と共に情報を共有しながら、チームで支援に取り組んでいる</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>緊急時のマニュアルがあり、急変時や事故発生時に対応できる体制がある。研修に参加し応急手当が出来る様になっている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>年2回避難訓練を行っている。近年災害が増えている為、危機意識を持ち利用者様の安全な避難方法や対応を学習している。運営推進会議にて協力が得られるようお願いしている。</p>	<p>年2回災害訓練は行なわれている。職員は、運営推進会議や内部の勉強会を通じて地域住民と協力体制を整えるよう努めている。またハザードマップでの事業所の位置づけを確認する等、今後も更なる防災に取り組む為の努力が成されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	職員は利用者様への言葉かけや対応など個々の人格を尊重した言葉使いや態度に留意しながら対応している。又、個人情報の管理は周知徹底している。	利用者一人ひとりの生活歴を知る事が大切で、プライバシーを損ねない言葉かけも含め、日々の支援に努めている。職員は外部研修や事業所内での会議の中で、接遇や人格の尊重についての知識や対応を確認し、情報を共有しながらサービスに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	個々の状態に合わせて、気持ちに耳を傾け分かりやすい言葉かけや、選択肢のある声掛けで自己決定しやすい場面を作るようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1日の時間の流れは決まっているが、その中で個々の生活ペースを大切に、やりたい事など希望を取り入れて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	馴染みの理美容院へお連れしている。家族に協力して頂き季節に合わせた服装が出来るよう支援し、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	個々の力や役割に合わせて職員と一緒に準備、片付けなど行っている。誕生日や季節の行事に合わせた行事食を楽しんで頂いている。	毎日食べたいメニューを決め、3度とも手作りを行っている。毎週火曜日は「お刺身の日」にしており、利用者は喜んでいる。また正月には、職員がお節料理を作る等、季節を感じるられる食事を工夫している。外食も近くの、くるくる寿司に出掛け等、楽しい食事が出来るよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食事・水分量を生活日誌に記録し把握できるようにしている。食事量・水分量・食事形態等個々の状態に合わせて対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを行い自力で困難な方には介助を行っている。口腔内の状況や義歯の状況を確認し、必要時歯科受診を受ける支援を行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>できるだけ排泄はトイレで行えるよう支援し、排泄パターンを把握し必要な方には、時間見てトイレ誘導し、トイレに行きたい素振りを逃さないよう心掛け、個々に合った対応に努めている。</p>	<p>職員は利用者の排泄パターンを、チェック表等通じて共有し、誘導の機会を把握し支援している。更に医師の指導の下、食事や水分摂取等を工夫しながら、その人の残存能力を活かし、排泄の自立に向けた支援に努めている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便チェック表や、生活日誌に記録し常に排便状態を把握するよう努めている。牛乳や食物繊維の多く含まれている食材を利用し便秘予防に努めている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>個人の身体状況に合わせて、週3回以上入浴を提供している。希望があれば柔軟に対応している。季節に応じて、柚子湯やしょうぶ湯など楽しんで頂いている。</p>	<p>利用者にゆっくり楽しく入浴をして貰うために、入浴環境にも気配りを行い、入浴中に身体を観察し、例えば打ち身等、本人も気が付かない様な怪我が無いか確認し、異常がある場合は、管理者（看護師）に報告を行い、安心して気持ちのよい入浴が出来るよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>一人ひとりの生活状況を把握し 体調や希望に応じ自由に休息し て頂いている。日中適度な活動 を促し生活リズムを作ることで 安眠できるように支援している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬の内容は職員が把握し服薬支 援を行い、症状の変化の確認を 行い必要時ホームドクターに報 告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>一人ひとりが張り合いのある生 活を送れるように、力に応じた 役割が持てる場を作りだせるよ うに努めている。個々の希望に 添った気分転換・行事等楽し んで頂けるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>身体機能の低下に伴い外出を好 まない方もいますが、近辺の散 歩など声掛けをし身体に負担 がかからないよう支援している。 できる限り本人の希望に添った 外出支援になるよう家族にも協 力を求めている。</p>	<p>職員の外出支援に対する意識は あるが、利用者の状態を考慮し ながら、外出を支援している。日 頃は近くへ散歩に出掛けたりも しているが、長い距離は困難な 場合がある。また普段行けない 場所には、計画を立て母体の運 転手の協力でドライブを楽しむ 等支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>家族より預り金として出納帳を 作り、希望があればいつでも使 えるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話を本人が希望された時や、家族からかかってきた時子機を利用していつでも使用できるよう支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花や利用者様と一緒に作った壁画を飾り空間作りしている。居心地良く過ごせるよう、テレビをつけっぱなしにせず、空調にも気を付けている。又職員が清掃し清潔を保っている。	木造の広い玄関を入ると、リビングが有り掃き出しの窓からは日差しが入り、窓の外は日本風の小さめの庭が、利用者の目を楽しませている。またリビングは開放された畳の部屋と続いており、好きな場所で好きな時間を過ごすことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	自由に居室やリビングの出入りが出来るようにしている。テレビの前を広くし集まりやすい空間となるよう工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時馴染みのあるものを、持ってきて頂き自宅に近い雰囲気となるようご家族に協力して頂いている。お仏壇など大切なものを持って来られる。	居室は、1階と2階に有るがどの部屋も日当たりが良く、収納もしっかりある。床は畳でそれぞれ異なった、趣のある日本風の広めの部屋で、使い慣れた家具等が置かれ、また2階居室は自由にベランダに出られる等、居心地よく過ごせるような工夫がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや浴室がわかるよう表記し、手すりや入浴バーを設置している。リビング・居室など不要なものを置かないようにし危険防止に努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームよってきんさい古江

作成日 平成30年4月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害対策の強化	地域との相互協力ができる	運営推進会議で話し合う	1年
			災害時の安全な避難ができる	水害・地震時の非難訓練を強化する	1年
2	4	運営推進会議の出席者に変化がない	運営推進会議の出席者を多様化する	出入りのお店屋さん、町内会、生活課、近隣の方々に意見や思いを聴かせて頂く	1年
3					
4					
5					
6					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。